

2020年4月6日

支部協会 理事長 殿

(公財) 日本ラグビーフットボール協会
専務理事 岩渕 健輔

【JRFU 主催の U15 中学生の大会の開催について】

「高校生以下対象の 4/6 以降の大会の延期・中止の判断について（通達）」(2020.3.25)にもとづき、標記について下記の通りといたします。

1. 開催判断手順

(1) 大会実施判断

新型コロナウイルス感染症による大会実施判断基準は、関係省庁の方針をもとに日本協会が判断します。

(2) 判断時期にもとづく開催可否及び方式の判断

全国中学生大会、全国ジュニアラグビー大会毎に判断時期を設け、開催の可否及び方式を判断します。

2. 「太陽生命カップ 2020 第 11 回全国中学生ラグビー大会」の開催について

(1) 第 1 次判断時期（4 月 1 日～5 月 7 日）

5 月 7 日までに大会開催が可能であることが確認された場合、例年通りの開催を基本とします。

(2) 第 2 次判断時期（5 月 8 日～6 月 30 日）

5 月 8 日以降 6 月 30 日までに大会開催が可能であることが確認された場合、開催方式を変更した上での開催を基本とします。

(3) 第 3 次判断時期（7 月 1 日）

中止とします。

(4) 第 1 次及び第 2 次判断時期における都道府県及び支部予選実施時期による上位大会出場チームの選出方法

① 都道府県予選について

- ・ 支部予選までに開催した都道府県協会は予選優秀チームとする。
- ・ 支部予選までに開催しなかった都道府県協会は予選によらない推薦チームとする。

② 支部予選について

- ・ 8 月 14 日までに開催できた支部協会は予選優秀チームとする。
- ・ 8 月 14 日までに開催できなかった支部協会は予選によらない推薦チームとする。

③ 予選におけるチームの推薦基準等は別途連絡します。

(5) 本大会実施方式について

本大会を実施する場合においても判断時期及び予選実施状況に応じて大会形式を変更する場合があります。

例1: 中学・スクールを混合して 2~4グループに分けてトーナメント、又はリーグ戦

例2: 交流試合方式、チーム数変更など

3. 「第26回全国ジュニアラグビーフットボール大会」

(1) 第1次判断時期 (3月31日~6月30日)

6月30日までに大会開催が可能であることが確認された場合、例年通りの開催を基本とします。

(2) 第2次判断時期 (7月1日~8月31日)

7月1日以降8月31日までに大会開催が可能であることが確認された場合、開催方式を変更し上での開催を基本とします。

(3) 第3次判断時期 (9月1日)

中止とします。

(4) 第2次判断時期における支部予選実施時期による本大会出場チームの選出方法

- ・ 11月23日までに開催できた支部協会は予選優秀チームとする。
- ・ 11月23日までに開催できなかった支部協会は予選によらない推薦チームとする。

(5) 本大会実施方式について

本大会を実施する場合においても判断時期及び予選実施状況に応じて大会形式を変更する場合があります。

例) チーム数変更、交流試合方式等

4. 大会の実施可否及び方式についての連絡

時期毎の判断のつど大会の実施可否及び方式について連絡します。

5. 大会前の練習による安全性確認について

予選を実施する際には、選手の安全性確保を最優先してください。選手の体力やスキルが低下していることが想定される場合、十分に練習を積んで、選手が試合に対応できることを確認してください。

6. 予選開催について

予選の開催に際しては、最新(3月25日)の通達に従ってください。

以上